

令和元年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
 II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
 III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
 IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
 V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 宮津市立栗田中学校 】

1 実践テーマ	【 I 】
2 実施対象者	栗田中学校全校生徒（男子33名 女子24名 計57名）
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 総合的な学習の時間 保健体育 ） ② 行事名（ オリンピック・パラリンピック教育講演会 ） ③ その他（ 特別活動 道徳 ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	パラリンピック出場選手から、競技を始めたきっかけや思い、良かったこと、苦労したことなどを聞き、障がいを個性として捉え、前向きに取り組む姿を学ぶとともに、自分の生き方を考えさせる。また、2020年東京オリンピック・パラリンピックに興味を持たせる。
5 取組内容	(1) 11月18日(月)～22日(金) 各学級で学活や道徳の時間を使い、オリンピック・パラリンピックや障がい者理解についての学習を行い、パラリンピックや障がい者スポーツに興味・関心を持たせた。 (2) 11月28日(木)～12月3日(火) 保健体育の授業の中で、パラリンピックの歴史や意義、障がい者スポーツについて学び、パラリンピックや障がい者スポーツに対する理解を深めた。 (3) 12月4日(水) 平成16年のアテネパラリンピック大会の4×400mリレーで銅メダルを獲得され、現在もさまざまな陸上競技大会に出場されている、寒川進さんに来ていただき、講演と実演をしていただいた。 (4) 12月4日(水)～13日(金) 講演を聴いたり、実演を見たりした感想を書き、寒川さんに送るとともに、たよりを使って、それぞれの感想を交流し、取組のまとめとした。



講演



競技用車いすの説明



実演



花束贈呈

6 主な成果

実際にパラリンピックに出場された方の話を聴き、競技用車いすに乗って走られる姿を見ることにより、パラリンピックへの興味・関心が深まるとともに、障がい者理解を行う上でも大変有効であった。また、明るく前向きに頑張っておられるパラリンピアンのお話を聴く中で、自分のこれからの生き方を見つめることができた生徒も多くおり、大変有意義であった。

<生徒の感想>

1番心に残った言葉は、「自分がしたいと思ったことが見つければ、人生は良くなる、変わる」という言葉です。今の自分にはやりたいことも目標もないので、やってみたいことを見つけ、それを実現させることを頑張ろうと思いました。(3年)

僕は、寒川さんの話を聞いて、大変なことを乗り越えて今があるんだと思いました。僕なら、大きな事故をしてしまったら、立ち直れなくなると思いました。しかし寒川さんは、車いす陸上という素晴らしい競技に出会い、少しずつ乗り越えながら努力して、結果を出している、とてもかっこいいなと思いました。(3年)

寒川さんが最後の方に話されていた、「あきらめたら終わり」という言葉がすごく胸に響き、私もあきらめずに、これからいろいろと頑張ろうと思うことができた。(2年)

普段聞くことのできない貴重な体験をさせていただきました。あきらめないことにより、そのあきらめの悪さを武器にし、戦って生きてきたということが、とても伝わりました。(2年)

交通事故で車いす生活になり、健常者という立場ではなく、障がい者という立場になっても、下を向かず前を向いてリハビリに励んだり、パラリンピック出場まで積み重ねたりした努力は、すごいんだなあとお話を聞いて感じました。(1年)

私は、寒川さんの話の中で、「あきらめない強い気持ちが人生の生き方を変える」という言葉が心に残っています。私も習い事や陸上の中で、思い通りにできなかったり、失敗したり、負けたりした時、「も

	<p>う無理だ、できない」という弱い気持ちに負けてしまい、あきらめてしまうことがあるけれど、今日話を聞いて、その「あきらめるか、あきらめないか」という選択が、将来とても大切なものにつながるということが分かりました。（1年）</p>
7実践において工夫した点（事業の特色）	<p>保護者にも講演会の実施について案内を送り、多くの方に貴重な話を聴いていただけるように工夫した。当日は、平日の午後ではあったが、保護者の参加もあり、大変有意義な取組となった。</p>
8主な課題等	<p>今回は、京都府北部人材確保事業事務局の方から、寒川様をご紹介いただき、所属会社に依頼することで、講師を決定することができた。また、会社の方針で寒川様の講演には謝礼や交通費を受け取らないことになっており、予算を使うことなく取組を実施できた。しかし、来年度からは予算がない中で、北部の地まで来ていただく講師を選定することは大変難しいと思われる。</p>
9来年度以降の実施予定	<p>成果のところでも述べたが、パラリンピアンのお話を聴くことで、生徒達が学ぶ意義はとても大きく、自分の生き方まで考えることができた生徒も多くいた。その意味で、予算が付けば来年度もパラリンピアンの方のお話を聴く取組を実施したい。</p>